

議会だより

委員会視察報告

○文教委員会



福井大学

期 間：平成23年9月29日～30日の2日間
訪問場所：福井県立大学
福井大学附属中学校
福井市立至民中学校
福井大学

文教委員会(杉原孝一郎委員長)では、福井市の「福井県立大学」「福井大学附属中学校」「福井市立至民中学校」を視察し、福井大学において福井大学大学院教育学研究科 松木教授との意見交換を行いました。

福井県立大学は平成19年4月より法人化しており、法人化に至った経緯、課題等について説明を受けました。尾道大学が平成24年4月に法人化される予定であるため、大変参考になりました。

福井大学附属中学校・福井市立至民中学校では、教育方針等の説明を受けた後、学校内の見学を行いました。至民中学校は教室と廊下との間に壁のないオープンスペースの開放的な教室で、教科センター方式での授業や異学年型クラスター制、地域連携を行っており、特色のある学校でした。

福井大学では、松木教授より、至民中学校の開校までの経緯、校舎設計の理念、特色ある教育カリキュラムの効果、福井大学の教職大学院等についてお話を伺いました。

○産業建設委員会

期 間：平成24年1月23日～24日の2日間
訪問場所：福岡県久留米市
佐賀県武雄市

産業建設委員会(巻幡伸一委員長)では、久留米市の「B級グルメの聖地(まち)久留米事業」、武雄市の「有害鳥獣として駆除したイノシシの特産品化事業」と「楼門朝市事業」の視察を行いました。

B級グルメとは、安くて庶民的なおいしい料理のことをいい、久留米市では、地元の「とんこつラーメン」「焼き鳥」「筑後うどん」の3つをもとにB-1グランプリ(全国各地からご当地のグルメ団体が参加する)に参加しました。平成20年には久留米市で開催され、多くの参加団体があり、賑わいを見せたということです。他にもB級グルメを生かしたまちおこしのためのイベントが様々に企画されていました。

武雄市では、イノシシ対策は箱わなが中心で、平成22年度は3,464頭を捕獲したそうです。他に、電気牧柵、ワイヤーメッシュ柵等により侵入防止対策を行っています。捕殺後、イノシシは食肉加工センターに運ばれ、猪肉として管理し、ベテラン職員が選別、ブランドマークを貼付し、販売するというものです。市の「いのしし課」は、食肉加工センターと連携し、イノシシ肉のPRや、新たな商品の開発、販路の拡大に努めているということでした。

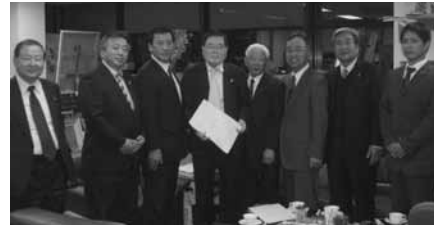
楼門朝市事業では、武雄温泉にあるシンボル(楼門)を望む通りで、中心市街地活性化事業として毎週日曜日の午前7時～9時に行われており、30～40の店が出店し、地元の特産品や農産物等を多数販売しています。観光客との交流や武雄のPRが狙いで、人が集ま



武雄市役所

り、まちが賑わうことで地域の活性化策の一つとなっています。

○瀬戸内しまなみ海道通行料金等調査特別委員会



要望活動風景



要望活動風景

要望活動：平成23年11月28日～29日の2日間
要 望 先：国会議員

要望項目：瀬戸内しまなみ海道通行料金の市内間通行無料化、瀬戸内しまなみ海道通行料金時間帯割引制度の継続、尾道大橋延伸部通行料金の無料化
瀬戸内しまなみ海道通行料金等調査特別委員会(福原謙二委員長)では、「瀬戸内しまなみ海道通行料金市内間通行無料化並びに時間帯割引制度の継続」、「しまなみ海道一部区間(尾道大橋延伸部)の無料化」を実現するため、国会議員への要望活動を実施しました。

地元選出国会議員のほか、国土交通委員会に所属するなど道路行政に理解の深い国会議員を訪問し、地域の実情を伝え、意見交換を行い、「党派を超えた連携をとってこの問題に取り組む」という回答を得るなどの成果をあげることができました。

☎ 議会事務局(☎0848-25-7371)

東日本大震災

災害支援専用ダイヤル ☎0848-25-7465

被災された皆様および被災者支援にご協力いただける皆様からのご相談をお受けしています。
(土・日・祝日を除く8:30～17:15)

尾道市での義援金受付は「3月21日まで」です

尾道市では、市役所総務課および各支所で被災した地域に対する義援金の受付を行っています。

お預かりした義援金を送金している日本赤十字社の受付が3月末に終了するため、市での義援金受付を「3月21日(水)まで」とさせていただきます。

☎ 総務課(☎0848-25-7216)